

Bio Dynamie Chablis

Bio Dynamie ビオ=ディナミ 生力学農法

農薬を一切使用しないのはもちろん、太陽の動きや月の満ち欠けが土地や食物に等に及ぼす影響を考慮し、「本来その土地が持つ力に働きかけ、それを引き出すための自然環境造りによって、作物はその生命を最高の状態に保つ」という考え。

Domaine Jean Gouley & Fils ドメーヌ・ジョン・グレイ・エ・フィス



シャブリにおけるビオ生産者の第一人者フィリップ・グレイが所有するドメーヌ、ドメーヌ・ジョン・グレイ・エ・フィス。全く同じ方法で栽培はされていたものの2006年より正式に有機栽培へ転向。

自分で何代目かさえも分からないくらい長くワイン造りを続けているグレイ家。父親の代には、機械化さらに化学肥料による農業が行われていたが、現当主のフィリップ・グレイ（写真下）が1990年にドメーヌを引き継いだことに端を発し有機栽培への転向が始まる。フィリップは、まず、有機栽培の実験台とするドメーヌ・フィリップ・グレイ（5ha）とドメーヌ・ジョン・グレイ・エ・フィス 13ha に2分する。ドメーヌ・フィリップ・グレイは91年から徐々に有機栽培に切り替え、ドメーヌ全体が有機栽培の認可を得たのは1997年のこと。ドメーヌ・ジョン・グレイ・エ・フィスも全く同じ栽培方法でずっと運営してきたものの、Dom フィリップ・グレイに比べ+8ha という面積はリスク管理という意味で心理的負担になり、「万が一何かあった時に対応できるように」と認可申請は行っていなかった。ただ10年を超えるビオ経験でようやく踏ん切りが付き、2005年よりカリテ・フランスの基準に則った有機栽培へと移行する。信じたことはひたすら打ち込む、と言った印象を与えるフィリップ・グレイ。ブルゴーニュの有機栽培ドメーヌの代表も勤めている。また、敢えて声高らかに主張することなくとも、フィリップ・グレイの仕事、その結果となって出来上がったワインを見て、感化され、有機栽培に切り替える生産者も数人でできていると語る。



シャブリの中心から車で20分ほど北西に上ったところにある、小さな村、ラ・シャペル・ヴァーペルテニユに蔵を構える。蔵は素朴で実用的。合計13haのその畑は、アペラシオンでいうとプティ・シャブリ4.5ha、シャブリ7ha、1er クリュモンマン1.5ha、1er フォーショー1.5ha、1er モンド・ミリュ0.75ha という構成。「シャブリ」という名前で売れるが為に、また気候的難しさもあり、目下、**認定有機栽培の生産者は2人のみだが、フィリップ・グレイはそのうちの1人。**

450
Chablis
シャブリ

JAN:4514852180354

451
Chablis Premier 1cru
FOURCHAUME
シャブリ・1er・フルシヨーム

JAN:4514852180361